●償却上手a Version 4.102

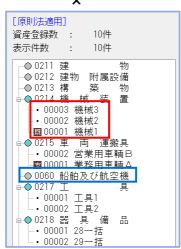
当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは 不可となっています。

◆ 登録・入力・計算書

- 資産データ入力
 - ①品目コード
 - ・科目作成区分を「財務科目コード」にしている場合で、通常入力でのツリー表示において、 品目コードの表示が降順に(コード番号の大きい順)に並び変わってしまう現象があったの を修正しました。
 - *科目作成区分を「財務科目コード」にしている場合で、設定したコードの一部が、科目名 称登録後の並び順ではない場合に起こります。

例えば、「旧減価償却コード」を「財務科目コード」に変更したが、一部旧コード 2 桁の ままの科目コードにしていたり、逆に4桁の科目コードが存在する場合等に、表示順に食 い違いが起こり現象が発生します。





*参考

科目作成区分が旧減価償却コードの場合は、 表示は単純に科目コード順となりますが、 財務科目コードの場合は、集計は種類区分 毎に行いますので、種類区分順の科目コード 順が表示順となります。

左記は、途中に旧減価償却コード60番が残 っている事で、判定がおかしくなり、品目コ ードが降順で並んでいます。

> 減価償却計算書

①減価償却計算書

- ・「出力設定」の「一括償却・少額特例・10万未満」タブで下記のような設定を行っている場合、本来であれば各々の事業期間内に取得した一括償却資産のみを表示し、償却済となっている期間は表示しない所、すべての期間で取得した一括償却資産を、出力対象となる事業期間において、重複して表示していたのを修正しました。
 - *「前期以前に償却済の一括償却資産も出力対象とする」を選択すると、全出力対象期間に 全一括償却資産を出力していました。
 - □一括償却資産の各期間計を「計算書末尾」(こ出力する * □上記の内訳も出力する ※ □
 - □前期以前に償却済の一括償却資産も出力対象とする

	×		
	【一括償却資産 (決算調整)】		
	[令02.01.01~令02.12.31]当期		
110-00001	一括25年歌得	1 ¥26, 06, 06	90000
00002	一括29年歌得	1 1200 00 00	290000
-00003	一括31年歌傳	T31, 02, 02	210000
00004	一括今和2年歌得	1 ⊕02, 02, 02	200000
	期間小計	3,10,10,10	200000
	TOTAL 4		200000
	[平31.01.01~令01.12.31]		
110-00001	一括25年歌得	1 ¥26, 06, 06	90000
00002	一括29年取得	1 ¥29.02.02	290000
00003	一括31年取得	1 #31, 02, 02	210000
00004	一括今和2年歌得	1	200000
	期間小計		210000
	TOTAL 4		210000
	* 一括償却資産合計・決算調整 *		410000
	TOTAL 8		410000



- *科目別帳票は問題なく、部門別帳票・経費別帳票に現象が起こります。
 - 一括償却の取得価額合計には影響はありません。
- *但し、科目別帳票に関しても、「出力設定」の「移動・分割、合併関係」タブで「移動元・ 移動先を常に分けて出力する」を選択している場合は、上記と同様の現象が起こります。

②減価償却費合計表

・減価償却費合計表において、継続資産の取得価額は「期首取得価額」欄に出力すべき所、「期中増加」欄に出力する事があったのを修正しました。

* 参老

四半期対応の影響を受けないはずが、四半期対応除外の設定が正しく行われていなかった ため、不具合を起こしていました。



以上